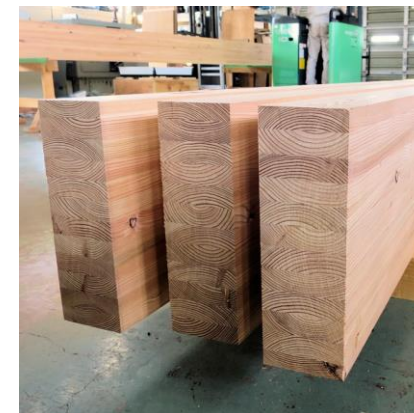


# 道産カラマツによる高強度な建築材料の開発

輸入材製品に対抗できる高強度な建築材料を製造する技術を確立しました。



道産カラマツ構造用集成材  
(原板を重ねて接着し、梁材等に利用)

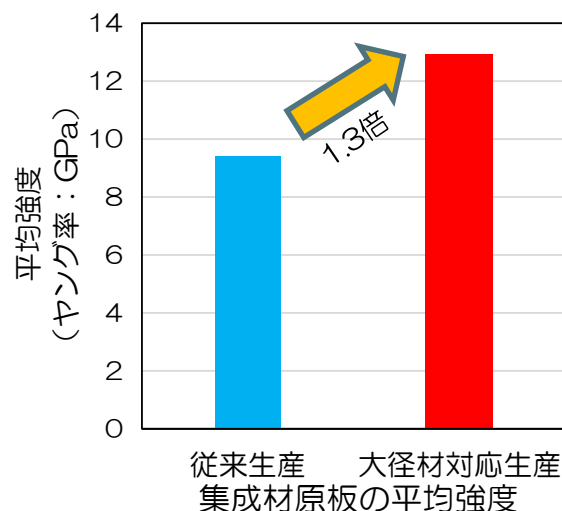
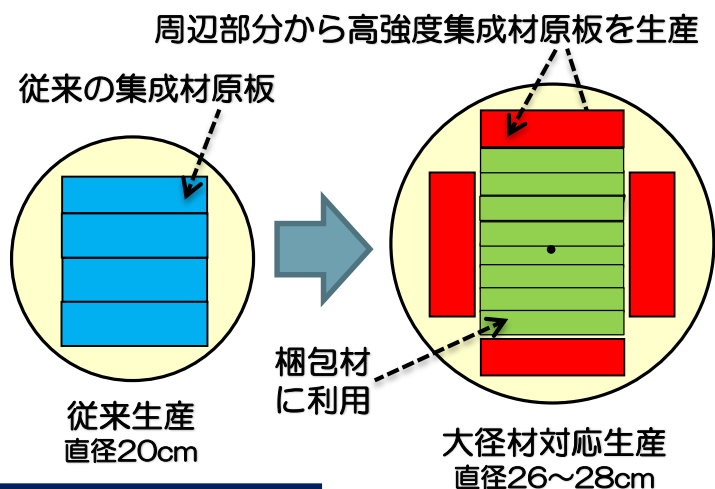
## 背景

- 高い強度が求められる梁材には、国産材では強度が不足することから、輸入材製品が使われることが多くなっています。
- 道産カラマツの大径化により、強度の高い周辺部分（樹心から概ね半径10cmよりも外側の部分）からは高強度な集成材原板が採取可能になってきています。

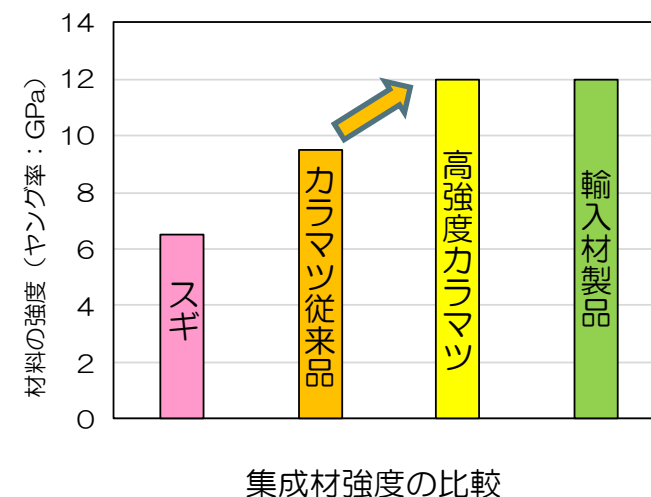
## 成果

道産カラマツで輸入材製品に対抗できる構造用集成材を開発しました。

1 製材方法の改良により、高強度な集成材原板の割合が増加しました



2 高強度な原板の接着方法を明らかにし、輸入材製品と同等の強度を持つ集成材の製造が可能となりました



## 期待される効果

- 民間を中心とした施設整備と市場開拓により、H26年度における道内のカラマツ集成材生産量（15千m<sup>3</sup>）の5割以上のアップを目指します（成果の活用による道内への3年間の経済波及効果は約50億円と試算）。